

平成二十三年六月二十九日(水)

JJファーム 田植え

2011年6月29日
 梅雨による長雨の間に、清田・三井とたまたまのうやく見えた太陽の下、JJファームの田植えを行いました。当日は、とても暑い30℃を越え、田植えで植えるのが、なかなか難しく、植えるのに時間がかかりました。JJファームの社長、松山社長、今西専務(兼JJファーム社長)、お米の約産家さんとして毎年お世話になってます福島さん夫妻、JJファーム顧問、川野さん、JJファーム商品開発、鬼に約産家を植える事ができました。

お昼には、福島の奥さんによる、おちよ吉・餅(自分の所で採れた米による、おちよと赤飯、JJファームのシャカイを使った肉じかも振舞われました。



苗を前に積み、苗ポットから順番に落とし植えていきます。



人の手によって、機械の通った後 補植していきます。何か所かに分け、補充用の苗を用意しておきます。



豊富で、綺麗な水によって稲が育っていきます。



福島さんは、納屋も自分で作られます。



人の手による作業も大切です。



苗が抜けやすいようにと枯れないように水をあげながら作業します。

ジャガイモ（マークイン）商品案内



トラクターにて、耕し畑づくりを行いました。



綺麗な種イモを用意する事ができました。



植えるのは、もちろん手作業。畝作りも機械にて行います。穴をあけるのも手作業です。



ジャガイモも機械の力をかりて次々と掘り上げていきます。



掘り上げた後、日に直接当たらないように広げ 乾燥させます。



今年も、J1ファームでは春に「メークイン」を種え付けました。寒い時期が平年より長く続き、作物への影響も心配されましたが・・・収穫時には、3トンもの量が収穫できました。大ききも種よくしっかかりしたものが多かったです。
今回、「ジャガイモ」メークインの発注書もいただきました。各店舗への送料と出荷できる量に合わせました。低価格にて提供することができそうです。普段はあまり使われないような市場一の店舗でもオアシス・日替わり等などで活用いただけると思います。
安心・安全での栽培を基準として、これからも熊本・九州の旬の食材を提供できるように頑張ります。

J1ファーム

石嶋 憲明

三井 順司